

無料 (ご自由にお持ち帰り下さい)

編集・発行／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121

ホームページ <https://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

2022年
Vol.45

ほっとタイムズ



新入職員のコメディカル

教えてドクターQ&A 「胃がんについて」



新入職員の看護師

特集 令和3年度 患者満足度調査結果



新入職員の医師

病院長メッセージ 「がんゲノム医療について」

※撮影時のみマスクをはずしております。

新入職員のご紹介 8

副病院長・放射線治療センター長 奥村 敏之
産婦人科部長 越智 寛幸

当院で活躍する認定看護師 8

がん化学療法看護認定看護師

連携医療機関のご紹介 9

吉原医院／富士見台歯科

地域連携だより 各診療科のご紹介 10

消化器内科

トピックス

「口腔ケアと健康寿命 Part.2」 12

令和3年度 患者満足度調査結果

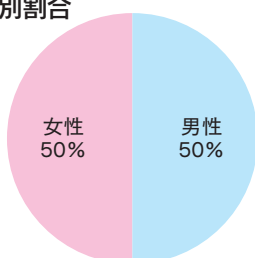
外 来

【調査実施日】

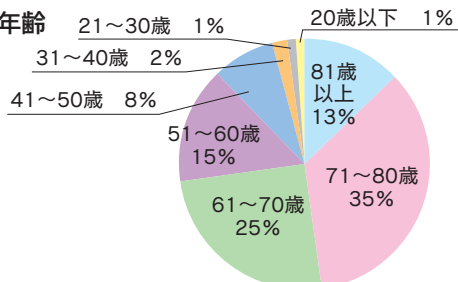
令和4年2月15日(火)、
17日(木)、21日(月)

【回答数】430

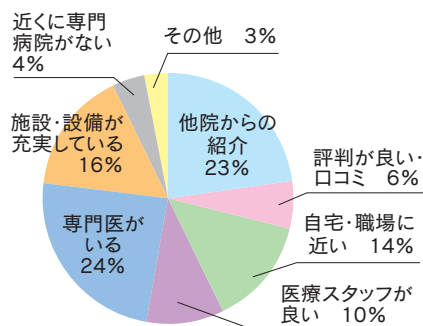
■性別割合



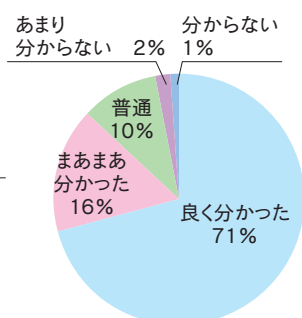
■患者年齢



■当院を選んだ理由 (複数回答可)



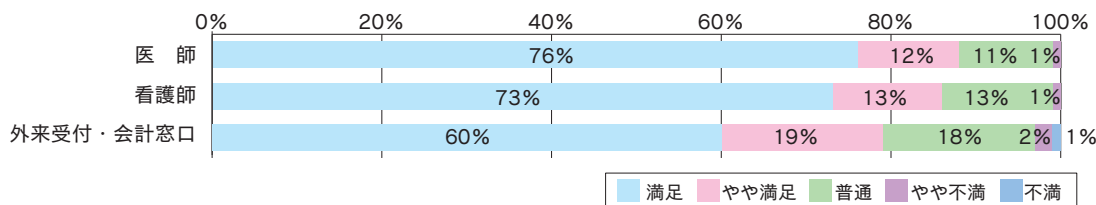
■医師からの病状や治療法、 検査や薬に関する説明は 分かりやすかったですか



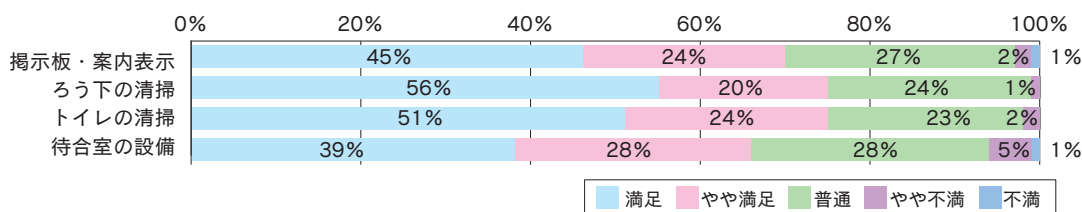
■本日の診察までどのくらい待ちまし たか

	予約あり	予約なし	合 計
30分未満	174	1	175
30分～1時間	124	5	129
1時間～1時間30分	33	2	35
1時間30分～2時間	12	0	12
2時間～3時間	7	3	10
3時間以上	0	0	0
合 計	350	11	361

■職員の対応 (礼儀、言葉づかい、態度、身だしなみ) についてどう思われましたか

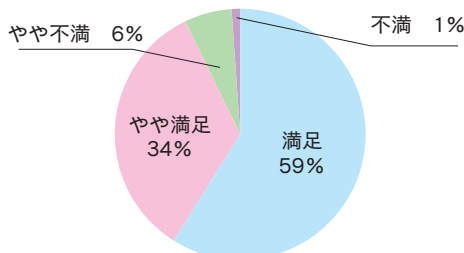


■院内の環境についてどう思われますか

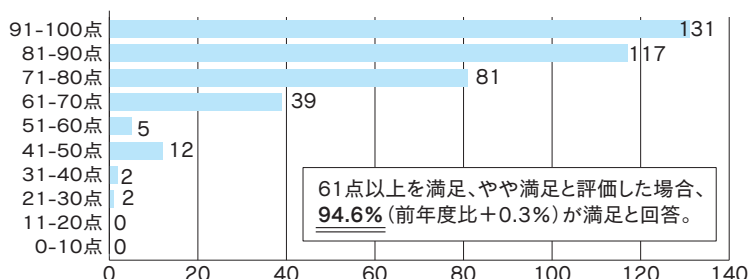


■当院を受診されて満足 of いく外来診療を 受けることができましたか

(全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表推進事業 調査項目)



■点数評価では何点ですか (100点満点で評価)



61点以上を満足、やや満足と評価した場合、
94.6% (前年度比+0.3%) が満足と回答。

当院にて患者満足度調査を実施いたしましたので、集計結果について皆様に報告させていただきます。いただきました貴重なご意見をもとに改善の努力をしております。アンケートにご協力くださった皆様、誠にありがとうございました。

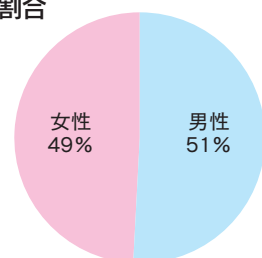
入院

【調査実施日】

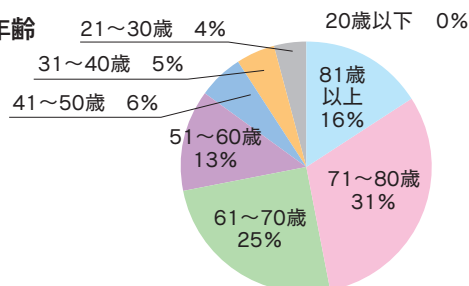
令和4年2月1日(火)
～18日(金)

【回答数】 81

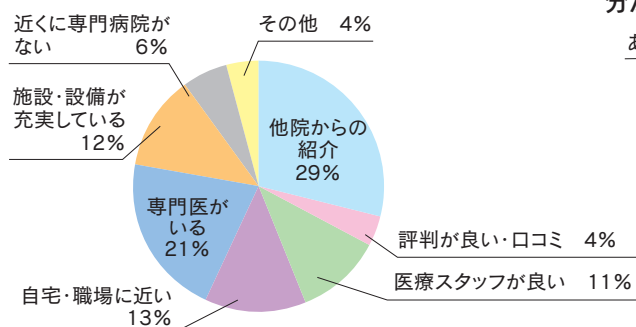
■性別割合



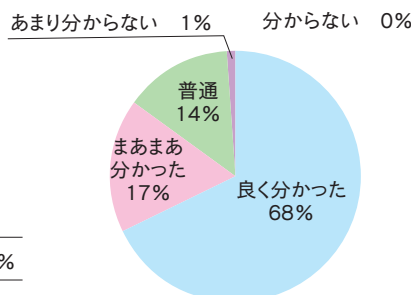
■患者年齢



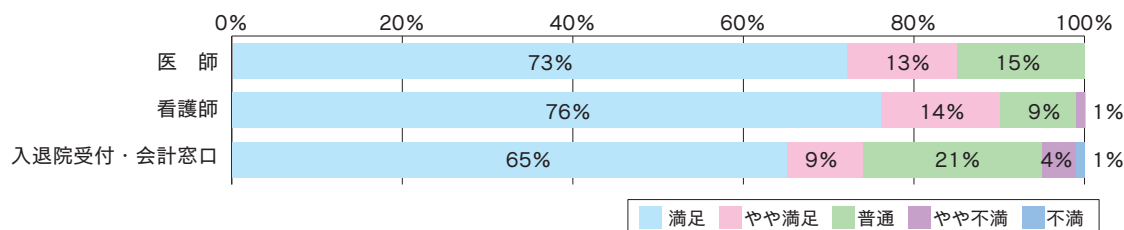
■当院を選んだ理由（複数回答可）



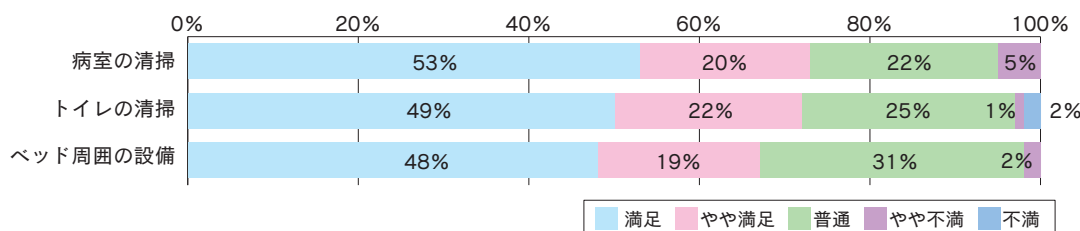
■医師からの病状や治療法、検査や薬に関する説明は分かりやすかったですか



■職員の対応(礼儀、言葉づかい、態度、身だしなみ)についてどう思われましたか

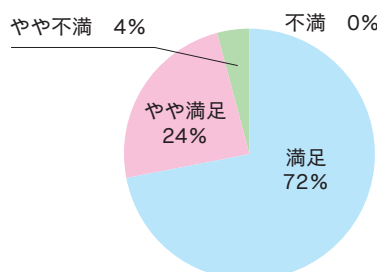


■院内の環境についてどう思われますか

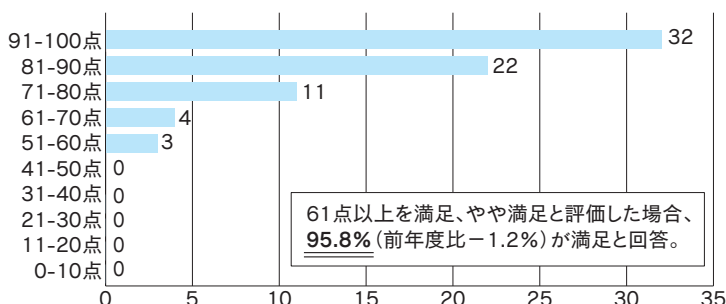


■今回入院されて満足のいく治療を受けることができましたか

(全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表推進事業 調査項目)



■点数評価では何点ですか（100点満点で評価）

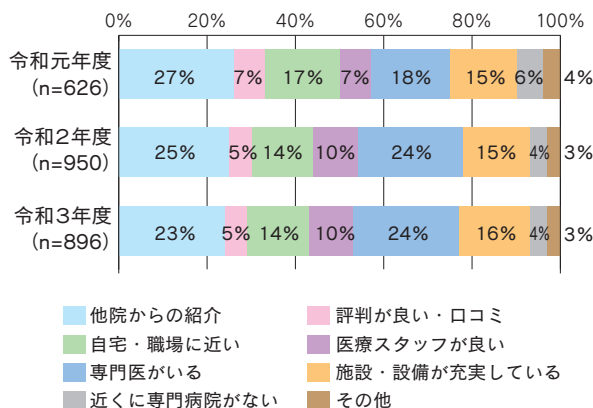


患者満足度調査年度比較(令和元年～令和3年度)

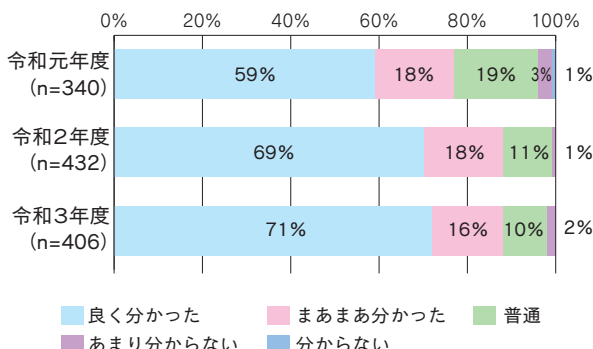
外 来

スペースの関係上、主な項目を抜粋（表中のnは有効回答数）

■当院を選んだ理由(複数回答可)

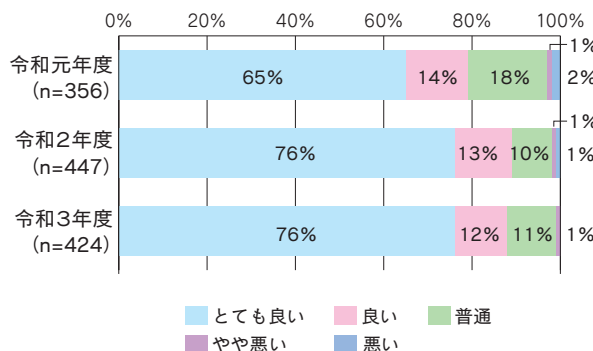


■医師からの病状や治療法、検査や薬に関する説明について



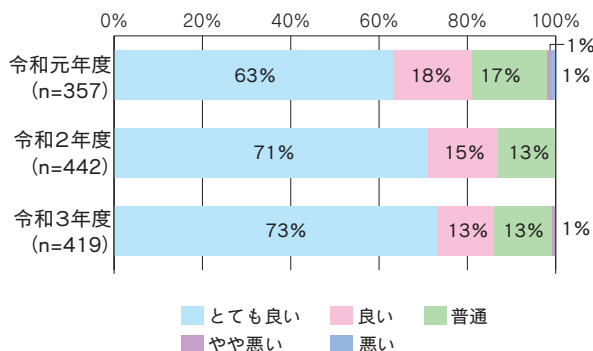
■職員の対応:医師

(礼儀、言葉づかい、態度、身だしなみ)について

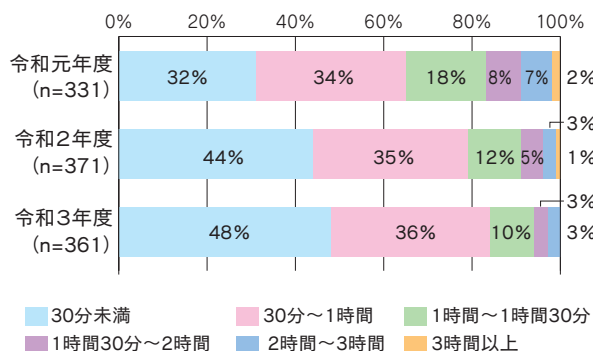


■職員の対応:看護師

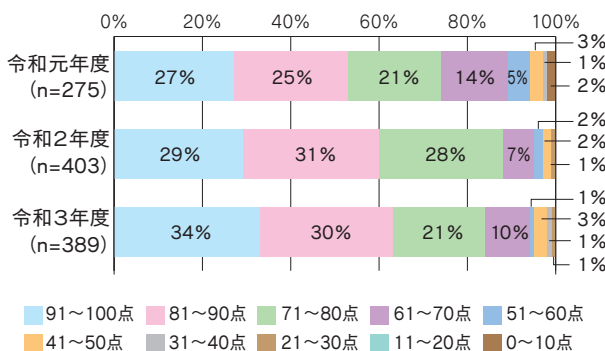
(礼儀、言葉づかい、態度、身だしなみ)について



■診察までの待ち時間について



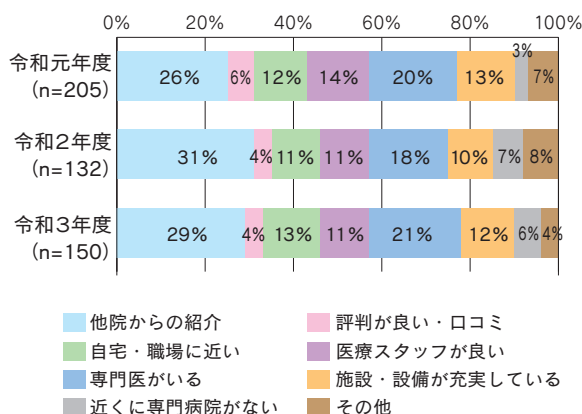
■当院の評価について:点数評価では何点ですか(100点満点評価)



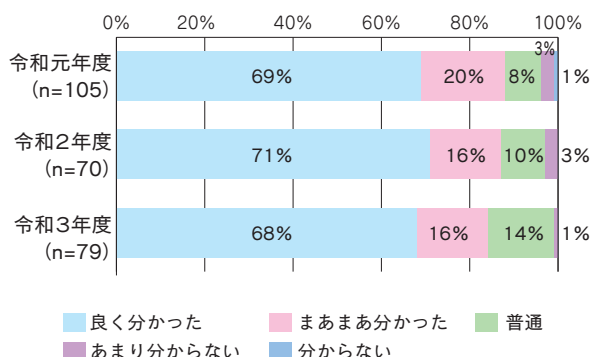
入院

スペースの関係上、主な項目を抜粋（表中のnは有効回答数）

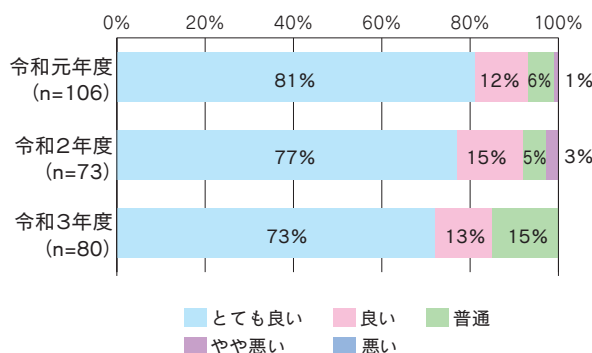
■当院を選んだ理由（複数回答可）



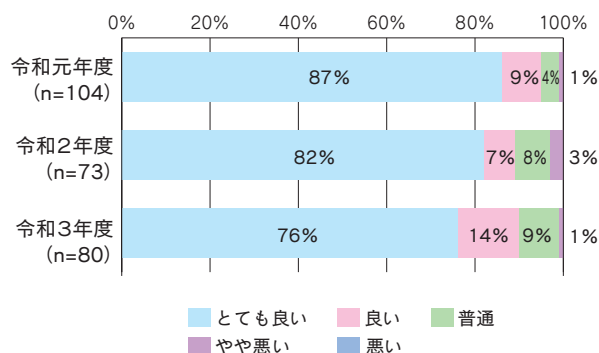
■医師からの病状や治療法、検査や薬に関する説明について



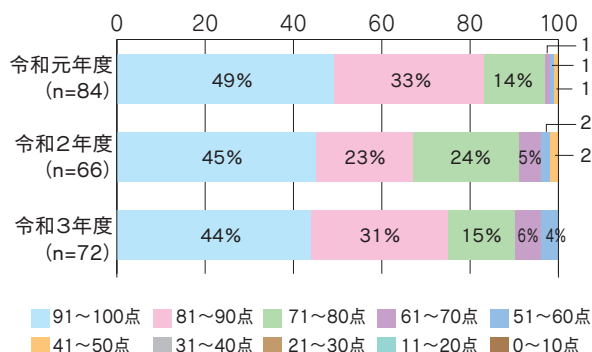
■職員の対応:医師 （礼儀、言葉づかい、態度、身だしなみ）について



■職員の対応:看護師 （礼儀、言葉づかい、態度、身だしなみ）について



■当院の評価について:点数評価では何点ですか （100点満点評価）



～評価のまとめと今後の取り組みについて～

今回のアンケート調査結果につきましては、スタッフ全員で共有し、病院として真摯に受け止め、よりよい病院づくりのために反映させていきたいと考えております。

職員の対応につきましては、おおむね高評価をいただいております。また、院内の環境についても改善の努力がみられるとの評価をいただいております。こちらに関しては継続できるよう努めてまいります。

なお、待ち時間につきましては特に取り組むべき課題として、工夫・改善につなげられるよう一層の努力をしております。

早期発見・早期治療が大切です!!

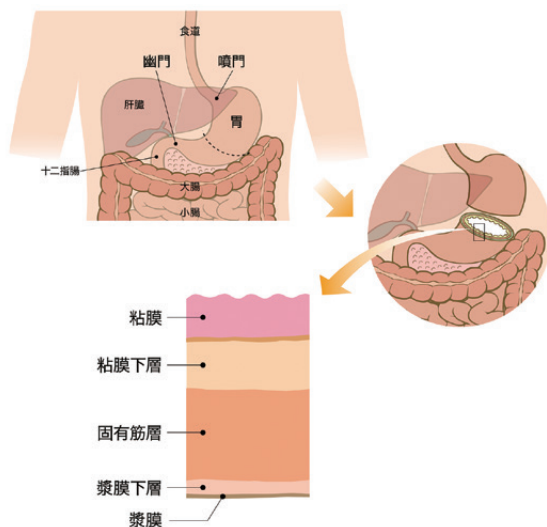
知っておこう「胃がん」について

Q：「胃がん」とはどんな病気ですか。

A：胃は食道の次の臓器で、摂取した食物を一時的に蓄えて胃液や消化液と混ぜ合わせる役割を持っています。胃で消化された食物は、少しずつ小腸、大腸に送られます。

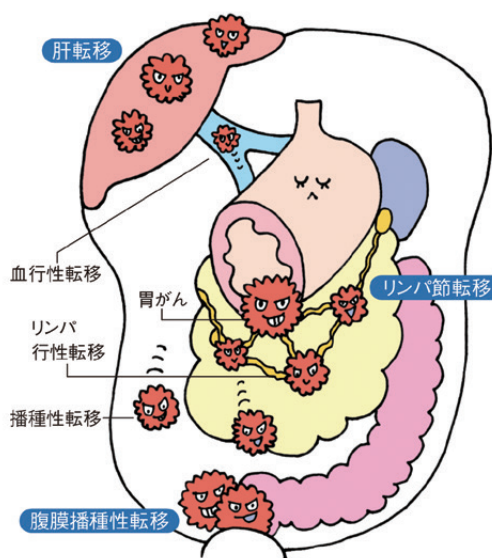
胃がんは胃の内側を覆う粘膜おほそくから発生します。粘膜または粘膜下層ねんまく かそうに留まっているものを早期がん、筋層きんそう以上に広がっているものを進行がんといいます。放置すると、リンパ液や血液の流れに乗って全身の臓器に転移したり、胃の壁を突き抜けて散らばったりします。

【胃の壁の構造】



画像：国立がん研究センターがん情報サービス

【胃がんの3大転移】



画像：胃がん治療ガイドラインの解説一般用

Q：「胃がん」はどんな人に多いですか。

A：中高年以上の男性に発症することが多く、50歳頃から増加します。若年者では粘膜の下を這うように広がる、スキルス胃がんが知られています。

胃がんの発生には、ピロリ菌感染とたばこ(喫煙と受動喫煙)が大きく関わっています。



Q：「胃がん」の症状にはどのようなものがありますか。

A：早い時期にはほとんど症状がなく、早期がんの多くは検診などで偶然に見つかります。進行してくると、みぞおちの痛み、胸やけ、吐き気などの症状が出てきます。がんからの出血により、赤黒い便で気づかれることもあります。食物のつかえや体重の減少なども要注意です。

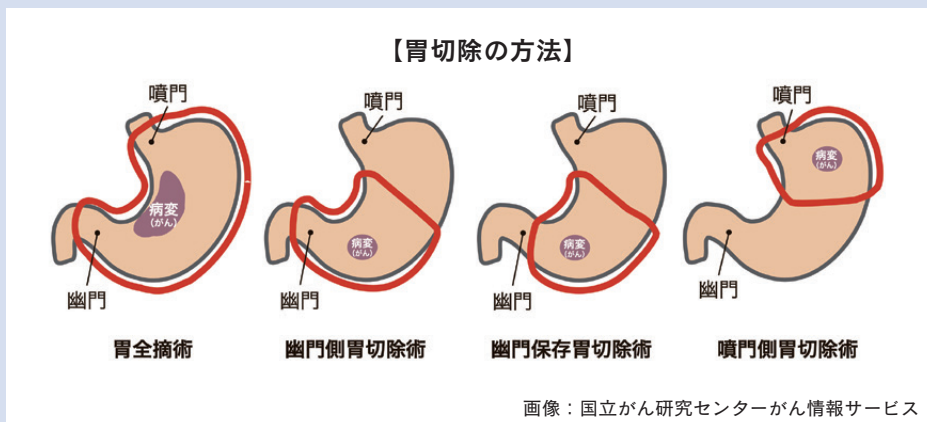


Q：「胃がん」の治療方法について教えてください。

A： 胃がんの治療法には、内視鏡治療、手術、薬物療法（抗がん剤）などがあります。
ごく早期のがんで、周囲のリンパ節への転移の可能性がない場合には、内視鏡による治療を行います。
進行がんでは、術後の再発予防に薬物療法を追加します。切除できないときや再発したときにも薬物療法を行い、症状によっては内視鏡を用いて狭い部分を広げたり、放射線を照射して出血を抑えたりします。

Q：「胃がん」の手術について教えてください。

A： 胃の出口側2/3～3/4を切除する^{ゆうもんそく い せつじょじゆつ}幽門側胃切除術と、胃を全部摘出する^{かくせい}胃全摘術が標準的な手術です。周囲のリンパ節を切除する^{ふくくきょう}リンパ節郭清を同時に行います。患者さんの全身状態やがんの進行度に応じて、切除する胃の範囲やリンパ節郭清の範囲を小さくします。
上腹部を大きく切開する手術が一般的でしたが、近年は^{ふくくきょう}腹腔鏡を用いて小さな傷で行う病院も増えてきました。
胃を切除すると、これまで通りに食事を摂ることはできません。一度に食べる量を減らし、食べる回数を増やすなどの工夫が必要になります。ご家族さんのご協力が必須です。



Q：「胃がん」予防のためにできることはありますか。

A： 胃がんは早期に見つかれば、そのほとんどが治ります。胃がん検診を定期的に受けることがもっとも大切です。
ピロリ菌感染が疑われたら除菌すること、喫煙者は禁煙すること、周囲に喫煙者がいるときは禁煙をお願いすることも、胃がんの予防につながります。

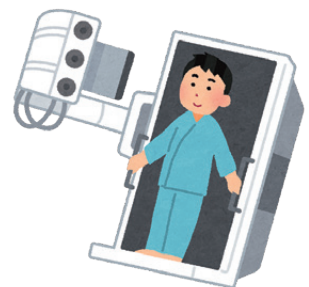


川崎先生から
ひとこと

消化器外科
部長

かわさき ひろし
川崎 普司

まずは、胃がん検診を受けましょう。要精査の通知があれば、早期にお近くの病院を受診し、精密検査をお勧めします。



はじめまして!

新入職員のご紹介



副病院長・放射線治療センター長 おくむら としゆき 奥村 敏之

2022年4月付けで着任いたしました。中央病院の放射線治療とは1989年以来、常勤医あるいは非常勤医として関わらせていただいておりますが、この度また常勤医として勤めさせていただくこととなりました。この間、時代の要請とともに放射線治療部門も新しい機器の増設・更新を繰り返して、常に先進の技術で患者の皆様に応えられるようスタッフ一同精進してまいりました。

これからもより身体に優しい治療を目指して努力を続ける所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



産婦人科部長 おち ひろゆき 越智 寛幸

今年の4月に赴任しました。専門は婦人科腫瘍です。筑波大学で12年間、集学的治療や緩和治療を実践してきた中で、特に悪性・良性腫瘍に対する鏡視下手術を担当していました。

趣味はありきたりですが『音楽鑑賞』です。オーディオにも興味がありますが、様々なアレンジのきいたライブを聴くことが好きです。コロナ禍でライブ参加は難しくなりましたが、スマホのアプリでライブ音源を手軽に楽しんでいます。また、静かなブームの『リターンライダー』となり、時折ソロキャンプツーリングに出かけています。

腹腔鏡下やロボット支援手術などの低侵襲手術を適切に取り入れられるように、専門外来として「鏡視下手術外来」を新たに開設しました。手術を行わない治療も積極的に試み、安全で質の高い治療を心がけてまいります。外科的治療を行う前に、ぜひ一度ご相談ください。

● 当院で活躍する認定看護師 ●

がん化学療法看護 認定看護師

当院のがん化学療法看護認定看護師は、化学療法センター1名、がん相談支援センター1名、病棟に2名在籍しています。私たちは、化学療法を受けられる患者さんが、安心・安全に治療を継続できるように支援を行っています。また、化学療法の副作用を最小限にするためのセルフケア支援や気持ちのつらさ、困りごとなどの相談にも応じています。これから治療を考えている方とご家族の相談にも応じています。気軽にお声がけください。



左から、上田看護師、高田看護師、糸賀看護師、佐伯看護師

かかりつけ医を
持ちましょう

連携医療機関のご紹介

地域の身近で気軽に相談できるかかりつけ医である医療機関をご紹介します。

吉原医院

院長 吉原 尚志

健康相談などが気軽にできる、『立ち寄れるクリニック』を目指して、2020年に開院しました。私は、長年にわたり、画像診断専門医として総合病院で勤めてまいりました。画像診断専門医とは、CTやMRI、エコーなどで撮影した画像を読み解き、異常を発見し、どのような病気が疑われるかを診断する専門医です。皆さまが想像される以上に、“画像”は体に起きているいろいろなことを教えてくれます。

風邪の諸症状や生活習慣病の管理・怪我への対応はもちろんのこと、県立中央病院などの基幹病院との連携に積極的に取り組みながら、癌や認知症の早期診断、脳卒中をはじめとする突然死の予防にも努めています。

月曜日と木曜日は診療時間を20時まで延長していますので、お仕事帰りにもお立ち寄りください。



■所在地：桜川市明日香2-31

■電話：0296-75-1177

■休診日：水曜、日曜、祝日

(木曜日午前は往診対応のみ)

診療時間：	月	火	水	木	金	土
	午前 9:00～12:00	午前 9:00～12:00	午後 14:00～20:00	午後 14:00～20:00	午前 9:00～12:00	午前 9:00～午後 14:00
	午後 14:00～20:00	午後 14:00～18:00	午後 14:00～18:00	午後 14:00～18:00	午後 14:00～18:00	

富士見台歯科

院長 村木 英司

旧岩瀬町の中心地区に、平成3年に開業致しました診療所です。一般歯科を中心に、矯正歯科、予防歯科等を行っており、開業以来、訪問診療を継続して行っております。歯周病検診、メンテナンスを重点に口腔管理、ケアを行う事で、患者さんの健康な毎日、健康長寿を支援したいと思っております。

かかりつけ強化歯科診療所、在宅療養支援歯科診療所として、通院して頂いている間だけではなく一生を通じて、おひとりおひとりと長いお付き合いが続けていける診療所でありたいと考えています。

東武茨城歯科医師会食文化研究会の活動や、地域での小さな講演、研修など、診療以外の面でも地域の少しかりのお役に立てればと思います。県立中央病院との医科歯科連携、周術期口腔機能管理においても、かかりつけ歯科医としての役目を果たせる様にこれからも努めてまいります。



■所在地：桜川市富士見台2-72-1

■電話：0296-75-0418

■診療時間：午前 9:00～12:00 午後 14:00～18:30

■休診日：木曜、日曜、祝日

■e-mail：muraki.fdc@oasis.ocn.ne.jp

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さんにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

各診療科のご紹介



消化器内科集合写真。前列左から2番目荒木医師

消化器内科

「C型肝炎の患者さまは
いらっしゃいませんか？」

消化器内科 部長

あら き まさ ひろ
荒木 真裕

平素より肝疾患診療にご協力いただきありがとうございます。

C型肝炎は発見、治療の開発から完成に30年ほどかかり、それは平成の時代にほぼ重なります。その間病気についての常識が大きく変化しましたので、フォローしきれていない先生方がまだおられないかと懸念しています。

当院の治療実績はグラフのとおりです。以前のスタンダードだったペグリバ療法は10年続けてやっと100例あまりだったものが、経口剤はすでに400例を越えております。そして経口剤でのウイルス排除率は97%に達しております。現在は1日1回、8ないし12週間の内服で治療します。インターフェロンは副作用が大変でしたが、それに比べると経口剤の副作用は出ても軽微なことがほとんどです。

C型肝炎の検査というとHCV抗体検査ですが、これは「一度C型肝炎に感染したことがある」ことを示すだけで、現在体内にウイルスがいるかどうかはわかりません。その診断のためには「HCV核酸定量検査」が必要です。検査が難しいようなら当院で確認いたしますので、お気軽に地域医療連携室〈FAX 0296-78-3589(直通)〉までお問い合わせください。

年齢だけで治療の適応が決まることはありません。高齢になるほどC型肝炎・肝硬変の方の肝発癌のリスクが高くなるためです。また現在は非代償性肝硬変でも治療が可能な薬剤が出ています。その他の要件もありますので、判断に迷われる場合はこれも地域医療連携室までお問い合わせいただければと思います。

医療費助成制度もありますので(茨城県のホームページをご覧ください)；

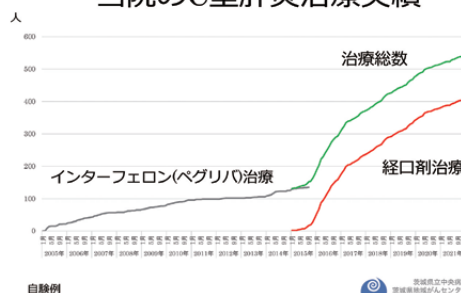
(<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/shitpei/yobo/kanen/kanen-josei.html>)
申請しますと経済的な負担が抑えられます。対象になるかを含め当院で対応します。

WHOは2030年までにウイルス性肝炎感染者を90%減らそうと呼びかけております。一人でも多くの方の治療に結びつけられますよう、ご協力をお願い申し上げます。

茨城県立中央病院 地域医療連携室ホームページ

(<https://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/iryosoudan/gyoumu>)

当院のC型肝炎治療実績



—第8回—

「がんゲノム医療について」

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター

しま ずい
病院長 島居

とおる
徹



がんゲノム医療は厚生労働省が2018年に指定した中核拠点病院、連携病院、その後追加指定された拠点病院という要件を満たした施設でのみ可能な医療で、現在、県内では当院を含めた3施設に限られます。

ゲノムとは、遺伝子をはじめとした遺伝情報の全体を意味します。ゲノムには2～3万の遺伝子が含まれているとされ、体をつくるためのさまざまな機能があります。がんはゲノムの変化によりDNAの配列などに違いが生じ、遺伝子が正常に機能しなくなった結果おこる病気です。

ほとんどのがんは、生活習慣、喫煙、加齢などが原因となり、もともと正常な体の細胞の遺伝子に変化（後天性変異）することにより発生し、その後の進行にもがん細胞においてのみ生じた遺伝子変異が関わっていくと考えられています。このようながん細胞だけに起きた遺伝子変異は、次世代に遺伝するものではありません。

一方、全身の正常細胞の遺伝子に生まれつき存在する変異が主因となって発生するがんもあります。これらは遺伝性腫瘍と呼ばれ、生殖細胞の遺伝子にも変異が存在するため、親から子に遺伝する可能性があります。米国の女優アンジェリーナジョリー氏はBRCA1という遺伝子の変異を持っていることがわかり、遺伝性乳癌卵巣癌症候群と診断されたことから、がんになるリスクを減らすために予防的に乳房や卵巣、卵管の切除したことを公表しています。

がんに対する治療薬剤を探索するための遺伝学的検査があり、これをコンパニオン診断とい

いますが、特定の遺伝子を調べる検査と、数100という遺伝子を対象とする検査があり、後者を遺伝子パネル検査といいます。コンパニオン診断でも、生殖細胞を検査対象とする場合は、遺伝する変異が発見される場合があります。

がんゲノム医療においては、遺伝する変異が発見された場合に、遺伝カウンセリングが必要となりますが、臨床遺伝専門医が認定遺伝カウンセラーのどちらかが行う必要があります。両者が在籍しているのは当院を含め県内2施設です。

当院の2019年度以降3年間の実績として、遺伝カウンセリングは656件、MSI検査¹⁾ 178件、BRCA分析検査²⁾ 208件、がん遺伝子パネル検査46件を実施しており、コロナ禍の影響はあったものの全体としては増加傾向であり、業務も急増しています。今後より多くのご要望に対応していくため、多職種によるがんゲノム医療センターの設置を進めています。受診に際しては、これまでの経過がわかる紹介状が必要となりますし、解析する資料（血液か病理組織か）による違いや制限がありますので、当院ホームページ遺伝子診療部からのご案内を確認くださいますようお願いいたします。

(2022年5月13日現在：<https://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/sguide/iden>)

注)

- 1) マイクロサテライト不安定検査で、リンチ症候群という遺伝性腫瘍の補助診断
- 2) BRCA遺伝子の変異を調べる検査で遺伝性乳癌卵巣癌症候群を診断する検査のひとつ



● 口腔ケアと健康寿命 Part. 2 ●

がん治療の前になんで歯医者に行くの？



病気が分かり治療をすることとなった時「歯医者に行って来てください。」と言われ「なぜ？」と思いながら歯科医院を受診している方が多いかもしれません。今回はその「なぜ？」について説明します。

『周術期等口腔機能管理』とは

がん治療には全身麻酔による切除手術、抗がん剤治療、放射線治療などがあり、一つまたは複数の組み合わせによる治療が必要となり長期間に及ぶことがあります。がん治療開始前に歯科を受診してお口の中をきれいにしてもらったり、治療中にトラブルとなる歯がないか確認してもらいましょう。

がん治療時にお口の管理を行う事は『周術期等口腔機能管理』と言い、手術前後、抗がん剤治療、放射線治療中に口腔内の清掃や歯磨き指導等を行います。口の中をきれいにしておくことががん治療時に起こるお口のトラブルを予防したり、症状を軽くすることでがん治療を円滑に進めることが出来るのでがん治療の前に歯科を受診して頂いています。

手術

全身麻酔時の気管内挿管の際に歯が折れたり、抜けたりしないように歯を守る準備が出来ます。また、お口の中の細菌数を減らしておくことで術後に感染や誤嚥性肺炎を起こすリスクやを予防できる可能性があります。



抗がん剤治療や放射線治療

合併症である口腔粘膜炎やカンジダ症、口腔乾燥などのトラブルを予防したり、必要に応じてケアを継続することでトラブルを早期治療し症状を軽くしたり、悪化を防ぎます。



歯科衛生士
もちだ ゆうこ
持田 雄子

当院ではかかりつけ歯科医院と情報共有を行い連携を取って手術前後で口腔内を清潔に保てるようにケアを行っています。

かかりつけ歯科がなかったり、治療開始までの期間が短い方はご相談ください。

周術期等口腔機能管理、医科歯科連携については当院ホームページの歯科口腔外科にありますので参照ください。

(<https://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/shikakoukuugeka>)

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121

ホームページ <https://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

